

市長のいきいきタウントークを開催しました

10月17日から19日にかけて、平成25年度市政懇談会「市長のいきいきタウントーク」を市内3会場で開催しました。

会場には3日間で延べ177名の市民の皆さんが参加され、市政に対する多くの意見・要望等が述べられました。

各会場での参加人数及び意見・要望等の内訳は下表のとおりです。いただいたご意見・ご要望等は庁内で検討し、今後のまちづくりに活かしていきます。



ご意見・ご要望等の内訳

生活基盤	16件
生活環境	1件
保健・福祉	1件
教育・文化	6件
市民生活	3件
行財政	2件
施設	2件
その他	5件
合計	36件

日時	会場	参加者	意見要望
10月17日(木) 午後7時～	南河内公民館	68名	15件
10月18日(金) 午後7時～	きらら館	61名	7件
10月19日(土) 午前10時30分～	コミュニテイ センター 友愛館	48名	14件
合計		177名	36件

■ 問い合わせ先
総合政策課 ☎(40)5550

また、ご意見・ご要望等とそれに対する市の回答の一部を紹介しますが、全ての一覧を総合政策課(国分寺庁舎2階)及び市ホームページでご覧いただけます。

ご意見・ご要望等とそれに対する市の回答の一部(要約)を紹介します。

新庁舎について

Q 新庁舎建設に際しては庁舎で使うエネルギーをどうするのか、具体的な計画を伺いたい。

A 屋上に太陽光パネルを設置し、電力の一部を賄う整備を考えています。

また、災害時に電力供給が遮断されることになった場合は、3日間連続稼働が可能な自家発電装置を備え付けます。燃料の軽油があれば、自家発電によって対処できると考えています。

おでかけ号を市外まで運行して欲しい

Q 近隣市町の病院に行くことがあるので、おでかけ号を市外まで運行して欲しい。

また、市内でも区域が異なる場合は乗継料金がかかってしまうので改善して欲しい。

A おでかけ号は、現在、市内で1

時間ごとに運行しています。市外まで回ると1時間の運行では難しいと思われるます。

また、乗継料金を無料にすれば市の負担となってきます。

先進地の事例なども研究しながら研究していきたいと思えます。

下野市職員の定数管理は

Q 下野市の職員定数管理について、計画の目標人数399人を達成しているとの説明があったが、この定員とは一般会計の職員のみか、特別会計等の職員も全て含まれているのか。

最近、身を切る改革が大事だと言われており、市議会では議員定数がまた減ると聞いている。そのような目線で見たとき、その399人という職員定数が果たして妥当な数字なのか。

A 特別会計も含めた正職員の総数です。

399人の定数が妥当かどうかという点については、平成32年までの第2次の定員適正化計画に着手しており、年内または年度内にまとめたいと考えています。今後は、職員の退職者も徐々に増えてまいります。また、高齢化対策に対応する専門職員が必要になることが予想されます。